

2021
3/12 (Fri)
13:30~14:30

エヴァ・フェダー・キティ『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』
(2010年、白澤社)



Zoomを用いたオンライン開催

参加方法 ZoomのURLを当日までにe-mailアドレスにお送りします。

イスラーム・ジェンダー学科研&グローバル関係学科研主催 Online Book Talk／巣ごもり読書会

愛の労働

あるいは依存とケアの 正義論

今回はエヴァ・フェダー・キティ『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』(2010年、白澤社)を題材に、ケア労働を考えます。キティはアメリカのフェミニスト哲学者です。本書は、ケア労働を社会的にどう位置づけるかを、重度の身体・知的障害を持つ子供を育てた経験に基づいて理論的に追求し、その後のケア労働をめぐる議論に大きな影響を与えました。ケア労働はジェンダー化されていると同時に文化にも強い影響を受けます。日本、エジプト、在日ムスリムのケア労働を紹介し、その共通点と差異を考えます。

語り手は日本のヤングケアラーのご研究をなさっている澁谷智子氏と、嶺崎寛子氏です。ふるってご参加ください。

語り手 澁谷 智子(成蹊大学)、嶺崎 寛子(成蹊大学)

【登壇者紹介】

◆澁谷 智子(しぶや ともこ)

成蹊大学文学部教授。専門は社会学。著書に『ヤングケアラー 介護を担う子ども・若者の現実』(中公新書)、『コードの世界——手話の文化と声の文化』(医学書院)など。

◆嶺崎 寛子(みねさき ひろこ)

成蹊大学文学部准教授。専門は文化人類学、ジェンダー学。著書に『イスラーム復興とジェンダー』(昭和堂)、『ジェンダー暴力の文化人類学』(昭和堂、田中雅一氏との共編著)など。

【今回の課題図書】

エヴァ・フェダー・キティ『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』(風響社、2020年)

【主催】

・科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢 栄治)
・グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立 B01班規範とアイデンティティ(代表:酒井 啓子)

【問い合わせ先】

イスラーム・ジェンダー学科研事務局